

修士課程

特別科目

インターンシップ A

1 単位 Internship A

キャリア教育の一環として、自らが学ぶ専門領域の社会的背景や、学生自らが進路先として目指している職種や業種、さらには業界などについて理解を深めるために、企業の組織プロフィールを理解するスキルを身につける。

目標：1. 顧客本位に基づく卓越した業績を残す企業の特徴について説明する事ができる。2. 企業の発展に寄与するエンジニアの役割について理解できる。3. 社会人基礎力に基づいた自己分析を行うことができる。

インターンシップ B

1 単位 Internship B

キャリア教育の一環として、自らが学ぶ専門領域ならびに関連した専門ビジネスについて理解を深める。これにより、大学院生として高い専門力の修得に加え、関連する専門領域についての見識を得ることが可能となる。

目標：1. インターンシップ先の企業概要が理解できる。2. 的確な就業体験計画が立案できる。3. 体験に必要な予備知識を調査し、事前学習を行うことができる。4. 業務体験や提供された課題の解決案を作成できる。5. 作業実施記録や実施報告書を作成し、発表または報告ができる。6. 就業体験を基に大学院の修学計画を立案できる。

ビジネスアーキテクト専攻特別講義 I Special Topics in Business Architecture I

本講義では、経営工学に関する新しい分野やトピックス、あるいは用意された専攻教育課程の中では教え切れない諸領域の中で特に理論や手法を中心とした内容について教授する。

目標：経営工学分野の最新の理論や手法を理解することができるようになる。

ビジネスアーキテクト専攻特別講義 II Special Topics in Business Architecture II

本講義では、経営工学に関する新しい分野やトピックス、あるいは用意された専攻教育課程の中では教え切れない諸領域の中で特に適用事例や実務経験・体験事例を中心とした内容について教授する。

目標：経営工学分野の最新の適用事例や実務経験・体験事例を理解することができるようになる。

副専修セミナー

2 単位 Minor Subject Seminar

この科目においては、受講学生の所属する専修科目担当教員以外の大学院担当教員の下で、一定期間（2単位相当分）研究活動を行う。その内容は、それぞれの担当教員の専門領域であり、それぞれ定める。この研究活動を通して、狭い研究領域にとどまらず広い視野の下に既存の科学技術あるいは研究領域の融合、新しい領域の開拓に対処できる能力の獲得を目指す。特に、実際の産業において活用できるような総合的な知識と応用力を身につける。